

平成 25 年度 八尾市地域自立支援協議会 支援部会 活動内容

(1) 就労・日中活動支援部会

★構成員：生活介護事業所・訓練等給付事業所・地域活動支援センター

第1回 平成 25 年 7 月 22 日（参加者 12 名）

- 障がい者の権利保障の観点から現場で感じることについて意見交換

<議論内容・課題等>

- ・ 「専門的な支援が低ければ虐待は起こる。支援の向上を考えていくことが虐待防止に繋がる」という観点から、日常的な現場での支援における専門性について意見交換を行う。
- ・ 意見交換の内容や課題を集約しながら、大学教授による「障がいをもつ人の人権保障を進めるために現場支援で大事なこと」の講演を開催する。

第2回 平成 25 年 10 月 21 日（参加者 11 名）

- 「障がいをもつ人の人権保障を進めるために現場支援で大事なこと」の講演
- 作業所で働くこととはどういうことなのかについて意見交換

<議論内容・課題等>

- ・ 働く権利をどう支えるか、労働者性をどう捉えるのか。障がい特性の理解と支援する合理的配慮が企業にも求められるが、日中活動の場の対応について意見交換を行う。
- ・ 一般就労、福祉的就労の共通点や違いなどを着目し、労働者の働く権利をどう保障し、支援していくのかが論点になる。

第3回 平成 25 年 11 月 11 日（参加者 10 名）

- 講演を受けて、日中支援のあり方について意見交換

<議論内容・課題等>

- ・ 作業所の位置づけ、企業と作業所の「働くこと」の一致点と違い、一般就労で必要なこと、作業所の作業の目的、求められる役割、作業以外の支援について意見交換を行う。

第4回 平成 26 年 3 月 13 日（参加者 13 名）

- 今年度の部会の振り返り、働く支援、作業所の役割について考えたこと、感じたことについて意見交換

<議論内容・課題等>

- ・ 障がい者が「働く」ということについて、作業所の役割、一人ひとりに対しての支援方法の違い、障がい者の権利擁護について、「働く」と「労働」の違いなど今までの部会を通して感じたことについて意見交換を行う。

(2) 地域生活支援部会

★構成員：居宅介護事業所

第1回 平成25年10月24日（参加者36名）

- 自己紹介
- 事業所一覧表の作成について
- 困難ケースについて
- 移動支援について

<議論内容・課題等>

- ・各事業所の特色を一覧表に入れる。（24時間対応、医療ケア対応、男性ヘルパー多い、外国語対応、移動支援、同行援護、行動援護、重度、児、等）
- ・ 身体・精神・知的それぞれに沿った対応の必要性
- ・ 土日の長時間の移動支援や重複障がい者の受け入れの出来る事業所が少ない

第2回 平成26年2月19日（参加者22名）

- 各支援部会について
- 事業所一覧表・マップの確認
- グループワーク

<議論内容・課題等>

- ・ 事業所の特色に手話を入れる
- ・ マップはA3サイズにし、地域包括で分けるか、地図自体を何分割かに分けるか、事業所の場所によって片寄りもあるので再度見やすい方で検討する事となる
- ・ 位置のピン付けは見にくくなるので外す方がいいのでは？
- ・ 駅・市役所・アリオ・山本球場など書き入れる
- ・ 困難ケースでは精神の利用者でヘルパーの顔を見てキャンセルする、ガイドの行き先を訪問してから変える、新聞の勧誘に來られ商品を受け取った為に契約とみなされてしまった、等の対応について議論した

第3回 平成26年3月12日

- 研修「成年後見制度について」
- 講師：司法書士

(3) 入所・グループホーム・ケアホーム支援部会

★構成員：施設入所支援事業所・共同生活援助（GH）・共同生活介護（CH）事業所

第1回 平成25年6月6日（参加者：6名）

- 各事業所の現状報告
- 報告：グループホーム支援センター
- 年間活動について

＜議論内容・課題等＞

- ・（報告）利用者支援の質を確保するための世話人への対応、その工夫について。報告連絡を密にする、良い支援をみつけてほめる、世話人どうしの情報共有、経歴から世話人のストレングスを見つけるなど。
- ・ 事例検討、世話人対応についての協議を年間で行うことの確認
- ・ （各事業所報告）金銭管理支援、余暇活動支援、医療的ケア、施設設備の問題等

第2回 平成25年9月17日（参加者：12名）

- 研修として講演と座談会 講師：大学教授

「個人として尊重されるその人らしい暮らしとは一暮らしの場の権利保障一」

＜議論内容・課題等＞

- ・自立＝「その人らしい暮らし」を支援するための理念の再確認、世話人の人権意識・業務環境を理解した上で、虐待を防止し権利を保障するための世話人のサポートのあり方等について講演、これを受け意見交換。

第3回 平成25年11月21日（参加者：9名）

- 各事業所の現状報告
- 研修を受けての課題整理

＜議論内容・課題等＞

- ・（各事業所報告）入院中利用者への支援、年末帰省できない人の対応、保護者対応等
- ・研修を受けて考えたこと、各事業所での世話人サポート、会議の現状を報告しあう。

＜企画＞ 平成26年2月20日 世話人交流会

6名×3グループのグループワーク。利用者とかかわり場面の中より3つの事例を提供し、それを話題として意見交換。各世話人より、日々のかかわりにおける工夫や大切にしていること、やりがいなどについて活発な意見交換がある。

第4回 平成26年3月25日

- 世話人交流会のまとめ
- 次年度の活動について

(4) 障がい児支援部会報告

- ★ 構成員：保健所・支援学校（府立・市立）・児童発達支援センター・児童発達支援＆放課後等デイサービス事業所・居宅介護事業所・日中一時支援事業所・短期入所事業所

第1回 平成25年5月13日（参加者：20名）

- 放課後等デイサービスの新規事業所の紹介
- 八尾支援学校東校（高等部）より平成27年度の移転について
- 事業所紹介シートについて

第2回 平成25年11月11日（参加者：14名）

- 夏休みの各機関における取り組み状況
- 複数事業所を利用している子どもたちの、支援について
- 各機関における権利擁護に関する取組状況について

第3回 平成26年1月20日（参加者：11名）

- 進路選択の状況確認
- 児童発達支援センターの保育所等訪問について
- 各機関での権利擁護・家族支援の状況について

第4回 平成26年3月12日（参加者：12名）

- 前回のグループ討議の内容交流と今年度まとめ
- 高度医療に関するアンケート結果報告
- 進路状況や来年度に向けた動きなどの情報交換

(5) 精神保健支援部会

★ 構成員：医療機関・福祉サービス事業所（訓練等給付事業所）・障がい福祉課・保健所・
社会福祉協議会・相談支援事業所

第1回 平成25年5月29日（参加者：16名）

●テーマ 「八尾市における特定相談・計画相談の導入の流れ」

発表者 八尾市障がい福祉課
相談支援事業所

●意見交換

- ・26年度中に約370名のプランを作成する必要がある
- ・事業所としては、医療につなげるところから関わる場合もあるが、関係をつくるところに時間や労力が多くかかるため、そのあたりも評価してもらえる仕組みになってほしい
- ・全く知らないケースに対応しなければならないこともある
- ・サービス等がマネジメントされていく中で、利用者を線で追い込んでいくようになることは避けたい

●今後の運営について

- ・この部会の位置づけを共有する必要性。
- ・話し合われた内容をどのようにして上部組織に声をあげていくか。
- ・タイムスケジュール（年間スケジュール）作成の検討
- ・個別ケースの検討

第2回 平成25年8月21日（参加者：12名）

●テーマ 「病院における、訪問・往診の現状と今後について」

発表者 病院アウトリーチ課

●内容

- ・病院のアウトリーチ活動について、範囲や対象像、活動内容について
- ・往診・訪問看護の概要
- ・アウトリーチ活動の課題

第3回 平成25年10月23日（参加者：8名）

●テーマ 「困難ケースを通して」

発表者 就労継続支援事業所

●内容

- ・現在対応している困難ケースについて事例提供して頂き、問題解決に向けた意見交換を行った。

第4回 平成26年2月26日（参加者：13名）

●テーマ 「地域体制整備コーディネーターと基幹相談支援センター」

発表者 保健所

●内容

- ・ 自立支援促進会議や退院促進支援事業の流れや今後の動向について
- ・ 地域体制コーディネーターと基幹型支援センターの違いについて
- ・ 27 年度から府から市町村へ業務が移管されるにあたり、保健所と市の連携について
- ・ 26 年 4 月から改定される精神保健福祉法について
- ・ 保健所が取り組んでいる自殺対策の現状について